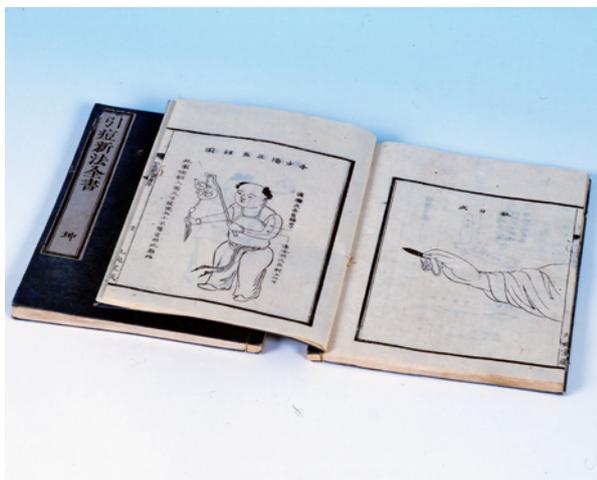


シリーズ  
伝染病と戦う

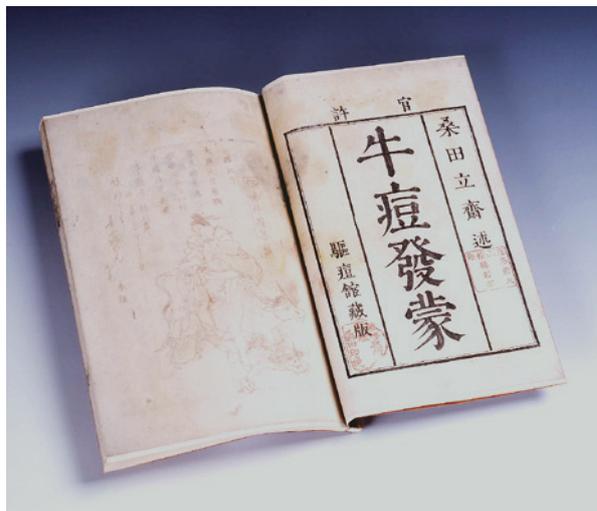
ぎゅうとうしゅとう でんぼ  
牛痘種痘の成功と伝播 ~佐賀から全国へ~

嘉永2(1849)年、オランダ商館医のモーニックが牛痘苗を日本にもたらし、長崎で佐賀藩医のならばやしそうけん榎林宗建が天然痘予防のための種痘を成功させました。これが、日本で初めての牛痘種痘の成功でした。佐賀でも、佐賀藩主鍋島直正の子息淳一郎(後の鍋島直大)への接種を成功させるなど、藩内での種痘実施を推し進めました。佐賀藩の牛痘種痘成功の知らせは全国各地に伝わり、種痘普及のための拠点の設置や書籍の出版などが盛んにおこなわれました。



いんとうしんぽう  
▲『引痘新法全書』(武雄市蔵)

弘化3(1846)年、佐賀藩医の牧春堂が著した、牛痘種痘法に関する書籍。中国の邱浩川によって出版された『引痘略』(1817)をもとにしている。牛痘種痘法の有用性や必要性を、種痘接種のわかりやすい図とともに紹介した。



ぎゅうとうはつもう  
▲『牛痘發蒙』(武雄鍋島家資料/武雄市蔵)

幕末に江戸で活躍した医師 桑田立齋りゅうさいが、江戸の鍋島邸でおこなわれた種痘の様子を著したもの。種痘の効果を認めた立齋は、牛痘種痘の普及に努力した。



▲『種痘法則』(武雄市蔵)

種痘法則は、広瀬元恭げんきよ『新訂牛痘奇法』の写本。当時の種痘の様子が描かれている。腕に小刀で傷をつけ、針で痘苗を植え付ける方法であったことがわかる。

甲斐国(山梨県)に生まれた広瀬元恭は、江戸で蘭学者の坪井信道しんどうに学んだ。京都で蘭学塾「時習堂」を開き、門下生には田中久重(からくり儀右衛門)佐野常民(佐賀藩士)などがある。

# エポカル武雄まつり & タケオマルシェ開催!

武雄市図書館・歴史資料館が現在の場所にオープンした2000年10月1日以来、オープン記念として毎年10月に開催しているエポカル武雄まつり。今年は10月3日(日)に第21回目を開催いたします。あわせて、素材にこだわった食品や手作りのおしゃれな雑貨が集まるタケオマルシェも開催いたします。

10/3  
sun.

## エポカル武雄まつり

武雄市図書館



-  **エコブック配布**  
10:00~なくなりしだい終了
-  **花苗配布**  
10:00~なくなりしだい終了
-  **音訳・点訳体験**

武雄市子ども図書館



-  **布遊具であそぼう**
-  **スペシャルおはなし会**
-  **しばふ広場であそぼう**

## タケオマルシェ

武雄市図書館ガーデンスペース 



10:00~16:00



飲食はテイクアウト形式です。  
雨天・強風の場合中止いたします。

※予定が変更・中止になる場合がございます。図書館HP等でご確認ください。

## PICK UP

### 図書館で活躍するボランティア

武雄市図書館では、市民の方や図書館利用を支える様々なボランティアの方が活躍しています。10月に開催するエポカル武雄まつりでも活躍いただくボランティア団体を一部、こちらの紙面でもご紹介いたします。活動に興味のある方は、ぜひ当日ご参加ください。

#### 図書館ボランティア 「エポカル武雄フレンズ」

武雄市図書館が現在の場所にオープンする以前から図書館ボランティアとして活動。毎月「声の市報」を作成しています。エポカル武雄まつりでは、そんな点訳・音訳する活動を体験できます。



#### 手づくり遊具の会 「あかとんぼ」

布絵本や遊具を手づくりし貸出する活動をしています。武雄市子ども図書館に常設している布絵本も、あかとんぼが作成。エポカル武雄まつりでは、絵本以外に布でできたおもちゃが楽しめます。



#### おはなし会ボランティア 「おはなし会たけお」

武雄市内で活動する4つのおはなし会グループが集まり図書館での読み聞かせのボランティアや、ママサポーターとして活躍中。エポカル武雄まつりではスペシャルおはなし会を行います。



発行:武雄市図書館・歴史資料館

武雄市図書館 9:00~21:00 年中無休 TEL.0954-20-0222 Fax.0954-20-0223  
ホームページ: <https://takeo.city-library.jp/>



歴史資料館 9:00~17:00 月曜休館 TEL.0954-28-9105 Fax.0954-28-9205  
ホームページ: <https://www.city.takeo.lg.jp/rekisi/his-top.html>



※災害時等、緊急時は休館いたします。